



ぶれずにこの国を守り抜く!

細田 けんいち プロフィール

昭和39年7月11日生まれ
京都大学法学部卒業
経済産業省出身 中小企業政策のプロ
前農林水産大臣政務官
かあちゃんに頭が上がらない二児の父
趣味はカラオケで大きな声で歌うこと

共に戦います!

経済産業大臣 世耕 弘成
農林水産大臣 齋藤 健

国のため、地元のため
連続当選が必要です。
皆様からの絶大なる
ご支持をお願いします。

新潟2区 自民党新潟県議団

三富 佳一 中野 洸
柄沢 正三 桜井 甚一

《引き続き一つ一つ丁寧に取り組んでまいります》

- 地元企業の「ものづくり補助金」や「税制支援措置」の活用を手助け
- 政府助成による「コメ買い上げ事業、水田フル活用」のための補助金の恒久化などによる「コメ価格の安定化」
- 地元企業の事業用地取得に関する「農振法」などの土地利用規制の緩和
- 保育士の確保や学童保育の拡充など、働きながら安心して子育てできる環境の整備
- 人手不足に対応するための外国人研修制度の拡大や省力化投資への支援
- 国道8号バイパス、燕吉田地区116号バイパス、佐渡空港2キロメートル化、佐渡一周線の整備、大河津分水の大改修など地元生活インフラの整備の推進
- ジェットフォイル割引対象の拡大や佐渡金銀山世界遺産登録の推進による佐渡活性化

《細田けんいちのこれまでの実績》

- 有人国境離島保全振興法により、佐渡のジェットフォイル料金を大幅引き下げ、「若者が働く場所」を離島に創る「補助金を新規創設」
- 国の土地改良予算について、新潟県に対し本州内では断トツ1位の配分を実現
- 昨年度から大河津分水の本格改修開始、本年度は昨年度の倍の約80億円の予算配分予定
- 子育て支援も力を入れていきます!
- 「燕市給食センター」の設置、「吉田北小学校の改修」について国の支援を取り付け、「味方小学校の改修」について早期実施を実現
- 全ての保育士を対象とした給与アップを実現
- 生活に密着したインフラ整備を!
- 「国道116号の老朽箇所」の修繕(出雲崎)や除草(西蒲)の実施、「矢川の浸漉工事」の実施(弥彦村)、「柏崎港の粉塵対策の実施」など、地元の要望を実現

地元の思いをカタチにします!
地元の皆さまのご要望を実現します。



自由民主党公認
細田けんいち

地元新潟県出身! 若い力!

無所属 県民党 で政策提言!



無所属
わしお 英一郎

◆北朝鮮有事を想定して必要な政策を立案します。

- ・ 国民保護法に基づき自治体が迅速に行動するための制度の改善。
- ・ 新潟県内に北朝鮮からの避難民が大量に押し寄せる場合の対処。
- ・ 原発がミサイル、テロの標的になる場合の具体的な想定と対処法の確立。
- ・ 拉致被害者救出に向けて特殊部隊の展開を想定。

◆地域でお金が回る仕組みを創り出し、景気回復へ!

- ・ 子育て環境を整備し少子化を是正、労働力を確保しやすくします。
- ・ 慢性的な高齢者の医療・福祉サービスの人材不足を緩和し、老後の不安を少なくします。
- ・ 戸別所得補償を復活させ、農業経営の見通しを明るくします。

○プロフィール

昭和52年1月3日生まれ(40歳)
平成7年/新潟県立新潟高等学校卒業(103期)
平成13年/東京大学経済学部経済学科卒業
平成17年/独立開業[公認会計士、税理士、行政書士]
平成17年/新潟県第2区より衆議院総選挙に初挑戦
10万票余を獲得し、大逆風の中、初当選
平成21年/2度目の当選(12万票余を獲得)、2期連続当選
平成24年/農林水産大臣政務官に就任
平成24年/大逆風の中、3期連続当選
平成26年/大逆風の中、4期連続当選
平成29年/5期目への挑戦!

ストップ! 柏崎刈羽原発の再稼働、変えるな! 憲法9条 「市民と野党の共同」で安倍政治の退場を



日本共産党
五十嵐たけひこ

原子力規制委員会は、柏崎刈羽原発6・7号機を「適合」と判断しました。論外です。電気は足りていません。
米山知事を支え、みなさんと力を合わせて、柏崎刈羽原発の再稼働への暴走を止めるために全力でがんばります。

くらりと平和まもる 5つの目標

- ① 消費税10%増税は中止!
増税するなら富裕層・大企業から
- ② 医療・介護・年金の充実
再生可能エネルギーで
地域の雇用と経済の再生
- ③ コメの戸別所得補償制度の復活
農林漁業を国の基幹産業に
- ④ 中小企業を思い切った支援し
いますぐ時給1000円に
1500円をめざします。
- ⑤ 北朝鮮: 経済制裁強化と一体に
対話による平和的解決を
軍事衝突から戦争へ——こ
んな事態だけは、絶対に起こし
てはなりません。日本政府は、
いまこそ「米朝対話」を、働き
かけるべきです。

「加計・森友疑惑」にフタする安倍政権。最大の争点は、アベ暴走を続けさせていいのかどうかです。対決構図は、「自公+補選勢力」対「市民と野党の共同」です。県知事選で勝利した「市民と野党の共同」の力で、新潟から新しい政治を起こしましょう。

「本気の共同」を 前進させます

県内6選挙区のうち5選挙区で、「市民と野党」の共同候補が実現。「本気の共同」をさらに前進させます。

比例代表は

日本共産党

お書きください

略歴 県立新潟高等学校・新潟大学教育人間科学部芸術環境創造課程卒業/新潟勤労者医療協会舟江病院・下越病院勤務/日本民主青年同盟新潟県委員長歴任。現在、党県委員

JCP 検索 www.jcp.or.jp

未来のためにみんなで投票!

投票し
まじ
り
よ

棄権
す
こ
と
な
く

10
月
22
日
(日)

投票
日
は

